

# 令和5年度 京都芸術教育研究事業 実施計画書

学校名	京都市立嘉楽中学校
校長名	古口 賢一
連携先大学名	京都市立芸術大学
指定期間	令和5～6年度

## 【研究テーマ】

- ・社会につながる表現力の育成「主体的に考えて表現する生徒に」  
～人権教育を基盤とした、キャリア教育と平和教育を通して、舞台芸術の世界について学ぶ～

## 【研究テーマの設定理由】

本校はこれまで、国や市の研究事業を受け、「論理的思考」や「表現力の育成」の研究を行ってきました。その様な研究を重ねる中で、学びを共有するために必要な表現力、他者に自分の思いを説明するために必要な表現力など、表現力といえども求められるものが様々であり、目的やねらいに応じた表現力を子どもたちに身に付けさせていく必要があると数年来の研究よりわかってきました。

今年度実施する「平和劇」では、役になりきるだけでなく、劇を作成した作者の想いに共感し思いを代弁する必要があります。そういった意味では、昨年行った舞台発表よりも更に磨かれた表現力を用いて3年間の人権学習の集大成として取り組みたい。

## 【本事業の趣旨・本事業を通じて“育みたい力”】

上記の教育実践から、生徒たちが身に付けた資質能力を、校内だけにとどまらず、保護者・地域の方々に発信し、将来の夢を実現するために自らを磨き続けられる生徒を育てていきたい。また、「人権」をテーマとした「演劇」を軸に、これまでにない新しい視点を踏まえながら取組を研究、充実させることで、生徒の表現力を爆発させたい。

- ・人権問題という身近な問題に対し、関心を持ち、それを解決することができる力を付けさせたい。
- ・創作過程における生徒の活動と大学による指導の両輪を教師がコーディネートしていきたい。
- ・生徒と教師、双方向の関わりを重視し、生徒一人ひとりの居場所と絆を、演劇を通し育む仕掛けを行いたい。
- ・昨年度の経験を踏まえ成果発表につなげたい。
- ・教員が嘉楽中学校で培った技能等を他校でも生かすことで、長く見れば京都市の芸術教育の普及につながる。

## 【研究テーマの取組計画・内容】

3年生 沖縄修学旅行先の沖縄をテーマに「平和劇」を行う

4月 修学旅行実行委員会発足 総務 生活 美化 レク 学習

5月 学習係…5月26日 沖縄プレゼン

① 平和宣言作成 ②沖縄の方から見た京都のイメージ調査（FORMSを用いて）

6月 沖縄修学旅行実施

① 振り返り②感想文の回収③お礼状の作成④感想文まとめ

⑤劇台本おろし⑥文化の部係決め

7月 劇オーディション・台本読み

8月～9月 劇練習（舞台稽古）

10月 舞台発表

◎舞台芸術について学ばせたい力【学年全員で作品を作りあげていく一体感・成就感】

- ① 演技（演技の基礎の「ことばの表現力」「からだの動き」のスキルを高め、演技者の「息づかい」「言葉づかい」が観ている側にも伝わるような会場の一体感を身に付けさせる）
- ② 音響（音響機器の基本的な操作スキル・効果音などの音楽のレコーディング）
- ③ 本校音楽部における三線の演奏
- ④ 照明（舞台を引き立たせる照明スキル）
- ⑤ 舞台芸術（大道具・小道具・プロモーションマッピング）  
舞踏および様々なジャンルのダンス（エイサーの演技）